

# 謹賀新年

年頭のごあいさつ 西脇市長 片山象三



新年あけましておめでとうござ  
います。皆さまには希望に満ちた  
新年をお迎えになられたことお  
慶び申し上げます。

昨年5月、新型コロナウイルス  
感染症の分類が「2類」から「5  
類」に引き下げられました。コロ  
ナ禍での数年間は行動が制限され、  
人々の移動は大きく減りましたが、  
日々の暮らしは「道路によるモノ  
と情報の流れ」によって支えられ  
ました。

人や地域を相互につなぐ「道  
路」は、日常生活や経済活動に欠  
かすことができないものです。災  
害時には救急救命、救援物資の運  
搬など、人々の命と暮らしを守る  
「命の道」にもなります。  
西脇市では交流の拡大、地域産

業の振興、中心市街地の活性化、  
交通安全の向上などを目的に、国  
道175号西脇北バイパス、東西  
道路（上戸田南交差点〜アピカ西  
脇間）、国道427号歩道のリニ  
ユール（郷瀬町〜西田町間）を  
はじめ、多くの道路整備が進めら  
れています。特に国道175号西  
脇北バイパスは、令和8年春の開  
通を目指して工事が最盛期を迎え  
ようとしています。

令和6年の干支は「甲辰とらぎ」です。  
「急速な成長と変化を誘う年」、  
また「将来の大ききかなえるため  
の準備が整う年」といわれていま  
す。令和7年の大阪・関西万博の  
開催に伴うフィールドパビリオン  
や、令和8年の国道175号西脇  
北バイパスの開通に向けて、西脇  
のまち全体が「新しいまちの姿」  
に変化していくことが見えてくる  
年になるうかと思えます。変貌す  
るまちの姿を市民の皆さまととも  
に共有しながら、引き続き全力で  
市政運営に取り組んでまいります。  
皆さまにとりまして、令和6年  
が実り多き年になりますことをお  
祈り申し上げます。

## 令和8年春 国道175号 2車線で 西脇北バイパス全線開通へ

国道175号は国土交通省によって整備が進められてい  
ます。その一部「西脇北バイパス（下戸田〜黒田庄町大  
伏間／約5\*<sub>0</sub>）」は、令和8年春に完成する予定です。

▶問合せ 国県事業推進室（市役所内線2090）



▲高架橋の建設が進む下戸田周辺

### 地域発展を担う大事な道路

西脇市が位置する北播磨地域は、日本海と瀬  
戸内海をつなぐ国道175号によって県内外の都  
市や港湾とつながり、日本各地や海外とも交流  
・交易を行いながら発展してきました。

現在、「東播丹波連絡道路」と呼ばれる区間  
（滝野社インターチェンジ〜丹波市氷上地域間  
／約30\*<sub>0</sub>）で整備が進んでいます。この道路が  
全線開通すると、南北地域の人やモノの往来が  
より増えたり、災害時の救援物資の輸送や高度  
医療センターへのアクセス時間が短縮したりす  
るなど、「命をつなぐ道」として効果が期待さ  
れます。



### 大伏ランプ以北へ—高まる期待

西脇北バイパスの整備が進む一方、東播丹波  
連絡道路の黒田庄町大伏〜丹波市氷上地域間は  
ルート決定に向けて調査中です。早期事業化に  
向けて地元の思いを国へ届けるため、西脇市は  
丹波市とともに要望活動を行うほか、両市民も  
交えた促進大会を開催しています。



▲丹波市までの開通に向けて両市で促進大会を開催

### 安全・安心、便利な暮らしへ

西脇市を縦断する東播丹波連絡道路は、滝野  
社インターチェンジ〜下戸田間（約8\*<sub>0</sub>）で4  
車線の整備が完了しています。

その北側に位置する「西脇北バイパス」は、  
平成9年に事業化され、現在も工事が進んでい  
ます。令和2年には寺内ランプ〜大伏ランプ間  
（約2\*<sub>0</sub>）が部分開通。現道の交通の約3割が  
西脇北バイパスへ転換しました。これによって  
交通安全の確保や交通混雑の緩和、救急・消防  
対応の迅速化など、地域の課題が改善されつつ  
あります。

西脇北バイパスは工事着工から約30年を要す  
る、西脇市内の一大事業となっています。

津万平野を縦断する「西脇北バイパス」